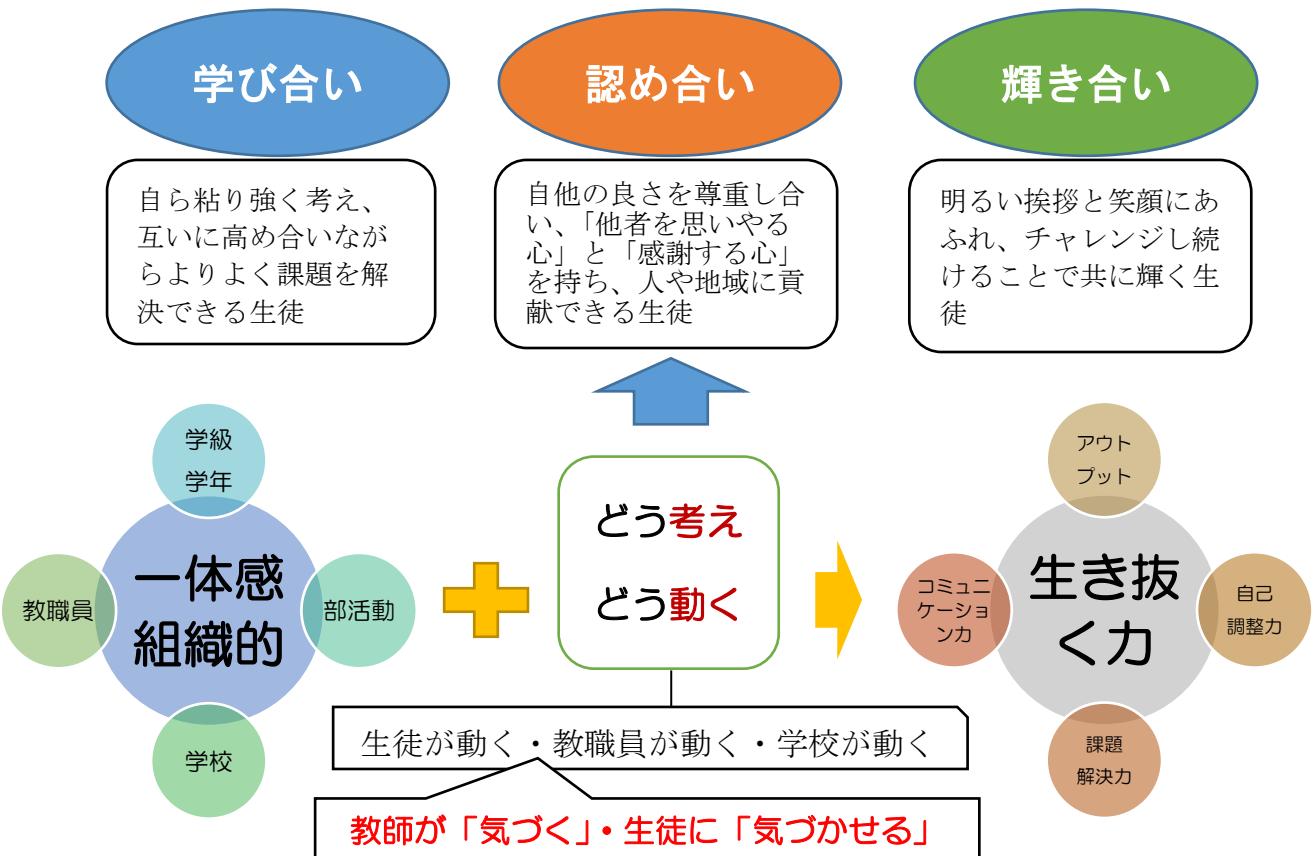


『学校教育目標』

「確かな学力と豊かな心を育み、社会を生き抜くためのたくましさを持った生徒の育成」
— 「地域に中学生の顔が見える」学校へ —

【重点目標】

◆めざす生徒像



◆めざす学校像

- 生徒が元気に登校、元気に下校する学校（安全・安心）
- 生徒、教職員が一体感を持って動く学校
- 「生き方科」を通して生き抜く力（自己調整力・コミュニケーション力・アウトプットする力・課題解決力・復興への思いと行動）を育む学校

◆めざす授業像

- 確かな学力を保証する授業の実践
 - ・ICTの効果的な活用による個別最適な学びと協働的な学びの充実
 - ・教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動を関連付けたアウトプットする力の育成
 - ・生徒主体の学習活動の工夫
- 総合的な学習の時間を柱とした「地域に中学生の顔が見える」活動への取組
 - ・中学生の視点で、町の復興の一翼を担う活動への取組

◆めざす教師像

- 震災による心のケアを意識しながら、生徒に寄り添い、励まし、守り抜く教師
(誰一人取り残さない学校の実現)
- プロとしての自覚と使命感【研究と修養（新しい発想）、率先（生徒に指導することはまず自分から）、高い人権意識、協働、改善、ゆとり、プラス思考、自分の思いを語る】を持ち、信頼される教師
- 生徒をその気に、やる気にさせる教師

生徒・保護者・地域から信頼される学校